

Japón Argentina

会報

No. 29
20 de Julio, 2000

話題

- アルゼンチン外債
東京で完売 1
- 口蹄疫完全撲滅の認定 .. 2
- アルゼンチンで
牧場経営 3
- サッカー
アルディレス監督 4
- 原昇文庫との巡り合い .. 5
- アルゼンチンから見た
ペルー大統領選 6
- ブエノスアイレス
タンゴ近況 8

アルゼンチン外債 600 億円完売

寺谷 淳

2000年2月から3月にかけて、格付け機関のムーディーズとS&Pは、相次いで、メキシコ、ブラジル、アルゼンチンのソブリン債の格付けや見通しを改善させた。メキシコは米国向け輸出を拡大させ対外債務状況が改善していること、ブラジルとアルゼンチンは99年初のブラジル通貨切り下げから、景気回復を果たしつつあることが主な理由である。表に示されるように、3月以降、三カ国とも東京市場で円建て外債(サムライ債)の起債を行っている。

アルゼンチンは、対外債務の大半がドル建てであること、ペソとドルの一対一兌換を保証していることから、外債発行はドル建てが中心であった。しかし、ドルに偏重した起債は、NYの金融市場に左右されやすいという弱点がある。最近では、金融派生商品の発達で、通貨スワップを用いて、ユーロ建てや円建て債券をドル建てに変換することも可能になっている。そこで、アルゼンチン政府は、外債の通貨をドルに加えてユーロと円に分散させる政策をとるようになった。ちなみに、2000年の外債発行予定額は総額98億ドル相当で、6月半ばまでにドルで27億ドル、ユーロで35億ユーロ、円で600億円と、バランス良く調達している。

ラテン・アメリカ主要三カ国の円債発行実績

年月	国名	金額 (億円)	金利 (%)	期間 (年)
1999/11	メキシコ合衆国	300	3.00	4
1999/12	アルゼンチン共和国	200	5.40	4
2000/04	ブラジル連邦共和国	600	4.50	3
2000/05	メキシコ合衆国	500	2.60	5
2000/06	アルゼンチン共和国	600	5.125	4

(注)私募債を除く

(出所)各種資料より野村総合研究所作成

アルゼンチンの五月革命記念日である5月25日に、今回の円建て外債の募集が開始された。4年満期で年利5.125%という利回りの高さが人気を呼び、発行総額600億円は、一週間以内にほぼ完売した。総額の70%から80%は、個人投資家に購入されたと見られている。日本の機関投資家が依然として低格付け債への投資に慎重である一方で、個人投資家はリスクを取っても、高利回りを求めるようになっている。

債券発行国にとって、金融システムが安定化しつつある中での日本の低金利と高い貯蓄率は、魅力である。ラテン・アメリカ主要三カ国の格付けや見通しが改善し、通貨分散政策が取られていること、日本の低金利が長期化し、個人投資家が高利回りを求めていることがうまく作用し、円建て外債の起債につながっている。アルゼンチンを中心とする新興国による円債の発行が今年から来年にかけて続きそうである。

(てらたに あつし、
当協会員、野村総合研究所
副主任研究員)

IMF アルゼンチン経済立て直しを称賛

IMFのフィッシャー次長は、「6月のアルゼンチン財政は8億ドルの黒字となり、前年同期の1億2000万ドル赤字を大きく改善した。税収が大きく伸び、経費削減、輸出増加による収支改善の努力は目覚ましいものがある。アルゼンチン経済の信用は保証される」と述べた。アルゼンチンが計画している今後の長期外債募集に好影響を与えるものと見られる。

(7月12日 フィナンシャル・タイムズ紙より)

アルゼンチン口蹄疫 非汚染国に 第68回国際獣疫総会で認定



アルゼンチン大使館からの通報によれば、さる5月パリの国際獣疫総会において、アルゼンチンは「ワクチンを使用しない口蹄疫非汚染国」として認定された。

数十年にわたる口蹄疫汚染国の汚名を払拭するアルゼンチンの悲願が達成された訳だが、ここに到るまでの同国の努力は並大抵のものではなかった。

それはメネム政権が発足した1989年に始まった。

アルゼンチンは口蹄疫根絶の戦略を立案し、二つの段階、つまり疫病管理(1990-1992)と疫病根絶(1993-1997)を実施しようというものであった。

1994年に汚染源の根絶、1996年にヴィールスの除去が

実現し、1997年にパリ獣疫事務局はこれらの事実を確認のうえ、アルゼンチンを「ワクチンを使用した非汚染国」に格上げした。

つぎにアルゼンチンに要求されたことは、24ヶ月間口蹄疫の発生がなく、さらに12ヶ月間ワクチンの投与なしで一件の病気も発生しないことであった。あの広大なパンパで、おびただしい数の牛への挑戦が続けられた。

アルゼンチンは莫大な予算とスタッフを動員して、このターゲットを前倒しに実現した。過去6年間一件の発病もなく、ワクチン投与の中止を1999年4月30日から実施した。今年に入り国家疫病監視機構は全国から1万7千のサンプルを抽出し、ヴィールスの不在を確認した。

さらに他国からの疫病参入防止の措置として、国境付近の住民への啓蒙、生動物、動物製品の輸入への厳重な監視を関係各局の協力で開始した。

いま、日本の農水省とアルゼンチン政府当局はわが国へのアルゼンチン牛肉の輸入解禁について折衝を続けており、成り行きが注目される。

(専務理事 野村秀治)

アルゼンチンで牧場経営

八柳修之

アルゼンチンのあのパンパを一度でも見たことのある人は、その広大さに驚き牧場主になってみたいものだという夢を抱くものである。その夢を実現した人がいる。ファッション産業界最大手、ワールドの創立者で現相談役の木口衛（まもる）氏と、アルゼンチンの mendosa 州に 3 万 ha の牧場を所有し、ミシシッピ州で樹林、製材事業を営む亜南物産の社長三村雄爾氏（岡山県出身、東農大卒）である。1998 年 2 月の夏、三村氏の案内でバタゴニアのカラファテを訪れた木口氏は、そのパンパの広大さに驚き、そして日本の将来、食糧安全保障の見地から農地、牧草地の確保の重要性を熱っぽく語る三村社長に共鳴した。木口氏はアルゼンチンで牧場を経営する夢を三村氏に託す決意をした。

そして 1999 年 11 月、ブエノスアイレス州バイアブランカ（有名な穀物の集産地、20 万トン級の船が接岸できる埠頭がある）で 1897 年から肉牛・種牛を生産し農牧協会の品評会において 3 回もグランド・チャンピオンを獲得したことのある由緒ある牧場を施設ごと買取ることに成功した。

新牧場の名前は木口ワールド、当初、買収した牧場面積は 2,100ha、その後、隣接地の牧場を 500ha 買取り、現在 2,600ha である。

牧場は最終的に純血統牛の生産を目的としているが、成牛になるまで 3 年の期間が必要である。この間の営農資金の回転を潤滑にするため、現在、Feed Lot（肉牛を短期肥育で太らす）子牛を 6~7 ヶ月で成牛（450~500kg）にし、肉牛として毎月 200 頭の出荷を

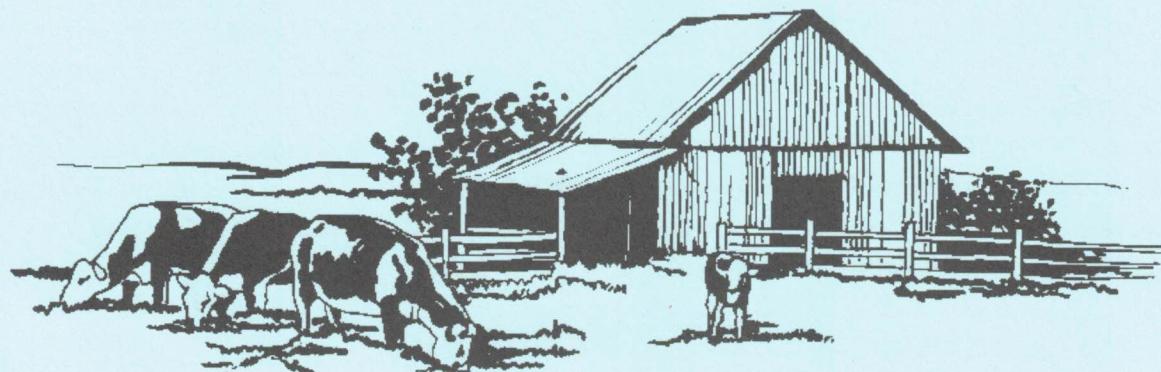
計画、この 5 月出荷した。

肉牛の肥育飼料はすべて自家製で穀物、牧草、配合に当たっている。また、雌牛に人工受精するだけでなく、受精卵移植（代理腹）の技術を取り入れて純血統種の生産・飼育を行っている。この計画は順調に進んでいるので、さらに隣接地 3,000ha を購入する計画も進んでいる。あわせて 6,000ha 弱、なんと東京区部の約 1/10 ほどの面積となる。

昨年、日本は米国、豪州等から生鮮・冷凍牛肉を年間約 73 万トン輸入している。アルゼンチンからの牛肉の輸入については、これまで口蹄疫の問題があり禁止されていたが、近くこの問題は解決される見通しである。

「そのうちアルゼンチンの牛肉、あのビッフェ・デ・チョリソがまた食べられますよ。なにしろ、うちの牛はアルファルファ草と自家製の穀物飼料を配合したエコロジー・ビーフですからね」と三村氏は語るのであった。

（やつやなぎよしゆき、
当協会員）



インタビュー <この人> (5)

もっと早くからサッカーを オスワルド・アルディレスさん

きき手 河崎 勲

「イングランドでもアルゼンチンでも、結婚相手は代えられる。住むところも代えられる。しかしサッカーを切り離すことはできないのです。宗教みたいな存在です。イングランドで土曜日の3時に何をするか、アルゼンチンで日曜日の4時に何をするか、サッカー観戦に決まっている。社会の中でのサッカーの位置づけが日本と大きく違う。日本は他にエンターテイメントも多いしね。」

グラウンドでは大きく見えていたが、向かい合ってみると168センチくらいの小柄な人だ。しかし、眼光あくまで鋭く、話し振りは理路整然で、このぎょろ目で睨まれて怒られると選手は縮み上がるのではないかとひそかに思うのだが……。

常に優勝候補に終わっていたマリノスを就任4か月で前期優勝に導いた。「何かマジックを使ったかって?いや別に。可能性のあるいい選手に恵まれていたからですよ。」

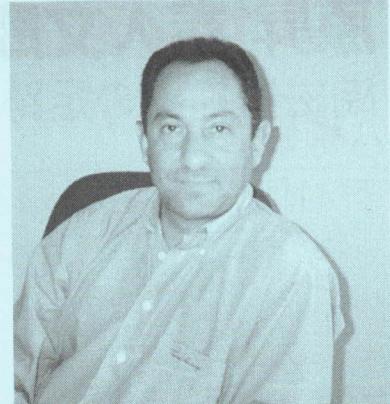
もっと早くからこの監督に教えてもらいたかったという

トップ選手たちの声が聞こえる。

78年アルゼンチンがワールドカップで優勝した時の中心選手。大会の最優秀ミッドフィルダー、ベスト・イレブンに選ばれている。指導者に転じてからは、イングランド、メキシコ、日本、クロアチアで監督。日本では2年前Jリーグ清水エスパルスを一挙に上位チームに引き上げた。

「日本のサッカーのレベルは、この前日本にいた時よりも上がっていますよ。それ以前と比べるとずっとよくなっている。うーん……そうですね。欧洲のトップグループの下位、その次のグループの上位というところですかね。日本の選手は、フィジカル面(身体的)は遜色がない。テクニック……もう少しですね。」

「17歳くらいでクラブに入ってくる日本選手と欧洲・南米の同年代の選手を比べるとはっきりと違いがある。欧洲や南米では、ボールを蹴れる年頃になるとサッカーを始めている。日本では学校に入つてから始める。出発点で



10年の差がある。だから日本では、国際試合に出る選手になるためには2-3年であまりにも多くのことを詰め込み勉強しなければならない。日本が強いサッカーチームを作ろうとするなら、子供たちが今よりもっと早い年齢でサッカーを始めることを考えなければならない。」

「1日にサッカーのことを考える時間? 24時間です。あまりプレッシャーがたまるとよくない。ホビーの一番はゴルフです。が、今回日本に来てからはまだ1度も。次はテニス、チエス、食べることです。家族で横浜のレストランへ食べに出かけます。日本食は、てんぷら、鉄板焼き、しゃぶしゃぶ、照り焼きなどが好きです。刺身? 寿司? ノーノー。生ものは苦手です。」

今後とも日本のサッカー向上に知恵と力を貸してくれるよう、日本を愛するこの指導者にお願いしたいものだ。

(かわさき いさお、

当協会理事、
ダンコムジャパン代表取締役)

そじん

原昇 素人文庫との出会い

陶磁器輸出の足跡を追って

野村信介

27号の会報に紹介された原昇文庫に誘われるように、私は国会図書館に出かけた。素人の興味の枠を出ないのであるが、私は田舎ではそぞろと戦前の日亜関係を研究している。日亜交流100年に関するいくつかの本を読んでいると、協会の野村秀治理事に連絡をとりたくなって、ある日電話をかけた。まったく面識がなかったのに、理事は親しく対応してくださった。私がアルゼンチンの資料をいろいろ探していると申し上げると、理事は原昇文庫をお教え下さったのである。

アルゼンチンがもっとも裕福な時代に我が国が輸出した陶磁器に興味がある。その量は半端なものではなかったようであるが、残念ながら、これらの記録はあまり残っていない。私が探しているのは、戦前のブエノスアイレスでの邦人の経済活動を示す資料。地下鉄永田町駅を降りると、期待で胸がふくらんだ。

欲しいものは、国会図書館本館4階の特別資料室にあった。昭和初期の在亜日本商業会議所書会員名簿、その会議録、週間アルゼンチン、在亜邦人活動写真帖…などなど、期待以上に多くの資料に触れ

ることができた。さすがに国会図書館、原昇氏が寄贈された多くの資料が他の資料といっしょに、捜しやすいように整理・保管されていた。これなら、貴重な資料の保管を頼む価値があるというものだ。ともかく、これらの資料と巡り合えたのは、私にとって幸運であった。研究に弾みがつきそうである。

特別資料室には、粗末なわら半紙でできた謄写版の新聞などもあった。痛みが激しいので、いずれはマイクロフィルム化されていくのであろうが、「生」の資料を手にとってみると、時代を感じることができる。移民や在留邦人にとって、邦語新聞は重要なものだった。わら半紙の謄写版であろうが、彼らにとって一番大切な情報源であったはずである。

私にとっても、このわら半紙の謄写版新聞は別の意味で大変貴重であった。新聞記事は、内容もさることながら、記事が何ページ目のどの段に掲載されたかを知ることが重要である。当時の人たちがその事象をどれほど重要視したかが分かる。記事のボリュームだけでは判断できない。さらに、面白いことに気がついた。

謄写版では紙面の活字に、書き手や編集者的心情が伝わっているようなのだ。印字の濃淡や、太字にするためのタッチなど、随所に「気持ち」を感じることができる。活字の新聞とは、この点が大いに異なるのだ。最近は、新聞記事をデータベース化し簡単に検索できるようになっている。しかし、コンピューターのボタンひとつで手に入れられるシステムでは、手に入れることができないこのような付加価値を、改めて思い知ったのである。

今回の経緯を経て、私も日本アルゼンチン協会の会員にならせてもらった。素人の研究は遅々として進まないが、いつの日か拙い研究の一端を皆様に見ていただけるように努力したいと思っている。戦前のアルゼンチンへの陶磁器の輸出に関する資料をご存知の方がいれば、ご一報を賜わりたく存じ上げる次第です。

(のむらしんすけ、
当協会員、三重大学
医学部第一内科助手)

編集部より

27号掲載の原昇文庫の記事中、「原昇氏夫人原恵子様」とあるのは誤りで、正しくは「原修氏夫人原恵子様」でした。訂正致します。

“フジモリ”を見る アルゼンチン日系社会 一世と二世の間に大きな開き

高木一臣

ブエノスアイレスの日本語紙
「らぶらた報知」主幹の高木一臣
さんに依頼して寄稿して頂きました。

ペルーのフジモリ大統領に対する在亜日系社会の反響は一世と二・三世によって可成りの違いが見受けられる。一世はヨーロッパの延長で本質的には西欧世界であるラ米において初の日系大統領が出たということで民族主義的な観点から無条件に拍手喝采、西欧民主主義の眼から専制的独裁的な点があつても「やっぱりサムライの血は争われぬわい」と我田引水的に解釈する傾向が強いが、二・三世となると違つて来る。日本人の血を受けた者として彼等も日系の大統領が出たということ自体については喜んでいるが、その受け取り方には一世の間に見られるような無条件な歓迎振りや熱狂振りは見られない。

「フジモリは日本人の顔をしているが、その体質は飽くまでペルーアリペルーアの考え方でペルーアリとして行動

しているだけで彼の行動を日本人の血に結び付けて褒めることは誤りを犯すことになる。フジモリが大統領に選ばれたのは基本的には西欧世界であるが貧しいインディオ大衆によって占められるペルーのインドアメリカ社会が背景にあることに負うものである。丁度同じく西欧世界に属しながら黒人の要素が強いブラジルのアフロ・アメリカ社会に日系の政界新出が見られるように」と冷静に分析、「白人優越の亜国社会では起こり得ないことだ」と半ば諦めに似た感情が窺われる。

唯、日本語学校で毎年行われる作文コンクールで「私が大きくなったら」という題で書かせると「大統領になって亜国の悪い政治を直したい」というのが見られるようになつたのは今迄なかつたことで、フジモリの影響が明らかに見て取られる。初の日系大統領登場による日系の政治的覚醒の現われるのはこの子等の時代になってからだろう。**政**治的な影響は別として亜国人の間に見られるのは

《日本人觀》の変わったことである。今迄、南北を通じて日系子弟は《おとなしい人たち》であった。正直勤勉で敬愛される反面、《BUENO ZONZO》(おひとよしのバカ)として甘く見られる嫌いのあった日系人に対するイメージを根本からくつがえしたのがフジモリである。元来、《東方君子の國》からやって来た移民の子孫である《おとなしい亜国人》は海千、山千のマキャベリストたちの集まるラ米では政治に向かぬ人種とされてきたし、本人たちもそう信じていた。そのイメージを破って「ハボネース、やるな」と白人はもとより日系人自身の目を開かせたのがフジモリである。その意味でフジモリの登場は白人の大海に囲まれたアジアの孤島として小さくなつた日系に大きな自信を与えたと言える。

もっとも未だに「日系は政治に関与すべからず」を金科玉条としている層のあることも否定できない。政治に手を出さないことが少数アジア人種である日系人が白人優越社会の中で生きて行く処世術としてきた。この処世訓を破つたフジモリは「困った男だ」というのが彼等の考えなのである。

(たかぎかずおみ、
在ブエノスアイレス
「らぶらた報知」主幹)

最新アルゼンチン情勢

～政治・経済の動き～

小林晋一郎

99年12月に発足したデ・ラ・ルア政権はIMFと合意した財政収支目標（年間赤字47億ドル）を達成すべく本年度予算成立と同時に増税を含む税制改革を実施した。しかし、景気の回復が遅く税収の伸びが低く、目標達成の困難さが予想され、公務員給与引き下げを内容とする歳出削減策を政府が発表した。これに対し組合の抗議スト、給与引き下げは違憲との意見もあり政府は困難な状況に置かれている。

[ブエノス市長にイバラ氏]
5月7日に行われたブエノスアイレス市長選挙は与党「同盟」のアニバル・イバラが49.41%の得票で、2位の元経済大臣カバロの33.08%を大きく引き離した。イバラ候補の得票率が50%未満であったため、上位2候補の決選投票となる予定であったが、カバロ候補が決選投票を辞退しイバラ候補が当選した。

[大統領訪米]

デ・ラ・ルア大統領は6月、マチネア経済大臣などを随員とし米国を訪問、クリントン大統領と会見。米企業家との会合では、訪米直前に政府の採った給与削減を含む歳出削減策が話題となった。

[公務員給与引き下げ]

5月29日、公的部門の歳出削

減策の追加9億3800万ドルを大統領令により施行した。公務員の給与を月額1000ドル以上6500ドル以下は12%削減、6500ドル以上は15%削減を実施、14万人の公務員合計で年間5億9000万ドルの削減を実施する。同時に退職公務員の特別年金支給を50%削減（50歳以下の受給者）、33%削減（50歳から60歳までの受給者）一年間で2億4000万ドルの削減一、公的機関の再編、公共投資の見直し、民営化企業の政府保有株の売却などを発表した。大統領令で強行したことから、組合は反発、野党ペロン党が多数を占める上院は大統領令を否決した。再度、下院で審議されることとなった。

[通信部門の完全自由化]

今年11月に通信部門が完全自由化される。テレフォニカ、テレコムの2社に加え、昨年末の規制緩和で通信分野への参入を果たしたベル・サウス、GTEなど10社は本年度60億ドルの設備投資を計画している。自由化で既存2社の新規10社への接続料は現行の1分2.35セントタボから1.10セントタボに引き下げられる。

[経済成長率 下方修正]

マチネア経済大臣は6月12日、今年の経済成長率見通しを当初の4%から3.5%に下方修正す

ると発表した。第1四半期の成長率が2.3%ないし2.4%で、通年で3.5%成長を達成するには第2四半期から4%ないし4.2%の成長が必要となる。

[証券取引グローバル化へ]
ブエノスアイレス証券取引所メルバルはサンパウロ証券取引所ボベスパなどと東京証券取引所も含め世界10大株式取引所と連携しグローバル株式市場の創設に向け検討を始めたことを明らかにした。

[自動車関税で調整]

5月3日、モンテビデオでのメルコスル自動車協議でアルゼンチン、ブラジルの2国間で合意していた域外共通関税に反対していたパラグアイ、ウルグアイに、別の関税を適用することで合意した。アルゼンチンとブラジルが35%の域外共通関税を設定、一方、パラグアイ、ウルグアイは2005年までの域内自由化までの間は23%の低関税を適用する。パラグアイは現行の関税率（大きさに応じ10%、15%、20%）を引き上げ、ウルグアイは現行の20%を23%に引き上げる。

[労働改革法]

4月27日、労働組合の権限を削減、雇用・解雇に係わるコスト削減に繋がると期待され

Hasta Siempre Racciatti

ブエノスアイレス タンゴ近況

大橋雄一

る労働改革法案が成立した。労働組合は給与水準の引き下げになるとして大規模な抗議デモを展開していたが、与党「同盟」が現行労働契約による給与水準を法案成立後2年間は保証すると確約し、最終的にペロン党が賛成に回り法案が成立した。

[輸出振興策]

マチネア経済大臣は4月、47項目の輸出振興策を発表した。主要な施策は次の通り。

- 輸出製品生産、環境対策のための資本財輸入に係わる関税免除。
- メルコスル域外で生産された資本財の関税率をゼロとする。
- 投資プロジェクトに対する付加価値税支払い猶予期間を現行の4年から6年に延長。
- 小規模輸出への関税手続き簡素化
- メルコスル域外への輸出還付金上限を10%から12%へ引上げ。

[IMFとの合意目標達成]

第1四半期の財政赤字は20億ドルでIMFとの合意目標の21億5000万ドルを下回り、目標を達成した。

(こばやし しんいちろう、
当協会編集委員、
東京リサーチインター
ナショナル研究理事)

3年ぶりの訪問だった。4月のブエノスアイレスはさやわかな秋だった。この町のタンゴはどうなっているのだろう。旧知のマエストロたちに会う前にタンゲーラをのぞいてまわる。「ビエホアルマセシ」や「ミケランジェロ」は主なホテルをまわる送迎バスを出している。客がくるのを待つていてる訳にいかないのだ。「それでも客の入りはあまりよくないなあ」。町にある沢山のダンスホールは盛況だ。だがちょっと待てよ。若者向けの音楽がかかる時フロアはぎっしりだが、タンゴバンドが演奏し始めると潮が引いたようにフロアが淋しくなる。タンゴが終わるのを客席で待つているのだ。

ラサーリとかエルネスト・フランコとか久しぶりに会うマエストロたちはみんな歓迎

してくれた。「何かタンゴが元気ないね」と私。「そうなんだ。政府の緊縮政策でみんな財布が窮屈になってね。タンゴを楽しむまで余裕がないんだよ。まあ一杯飲めや」。私は、ラジオとテレビのタンゴを収録するつもりでカセットテープを大量に持ち込んだのだが、ほとんどのテープは新品のまま残り、人にあげてしまった。タンゴ専門だったFMラジオでもテレビでもタンゴ番組はほとんど姿を消しているし、AMラジオもタンゴと他の音楽がごちゃごちゃに組み合わされていて収録する気にもなれないのだ。タンゴは今冬の時代なのか。

“Hasta Siempre Amor”的作曲家ラチアッティを、モンティビデオの病院に訪ねて見舞うことについていた。82歳の高齢で療養中だった。モンティビデ

オのホテルに電話をくれた。

「よくきたね。久しぶりに会えるね」しかし、5月27日突然連絡が入ってきた。「ラチアッティが今朝亡くなりました」すぐ近くまで行っていたのに何ということか。日本を好きな人で、「もう一



(左から)
大橋夫人 タンゴ歌手アジャーラ氏 大橋さん

感動の歌声 子どもたちの「カミニート」

香坂 優



見渡す限りにどこまでもつづく緑、都会の雑踏から1時間半あまり電車に揺られて、小さな小学校を訪ねた。田園地帯のその小学校のあまり大きいとはいえない体育館の中

度行きたい」と言っていたのだが・・・。曲想が浮かぶと、ナップキンに書いたり、レストランの壁に曲を書きつけたりする人だった。

去って行った女性をテーマにしたあの美しい名曲「アスター シエンプレ アモール」(いとしい人よ永遠に)はいつまでも世界の人に愛され続けるだろう。そうあって欲しい。

(おおはし ゆういち、
東京・江戸川タンゴクラブ
会長 当協会員)

で、「第12回アルゼンチン友好記念の日」の式典が始まろうとしていた。去る6月3日の土曜日、茨城県猿島郡境町の町立長田小学校である。

アルゼンチンとゆかりが深くおつきあいの長いこの小学校では1989年(平成元年)から毎年「アルゼンチン友好記念の日」の集いを行っている。この日も駐日アルゼンチン大使、総領事ご夫妻も出席。アルゼンチン協会の河崎勲氏の隣に私も出席した。

式典は、アルゼンチン国歌に始まり、キアラディア大使のお話、子どもたちのアルゼンチンへの素朴な疑問に答える大使との質疑応答と進み、いよいよクライマックスの全校生徒336人による「カミニート」の合唱となった。アルゼンチンタンゴの名曲の「カミ

ニート」である。しかも、立派なスペイン語での子どもたちの歌声だった。

そのときの私の驚きは、例えようもないものであった。1年生は入学して2か月あまり、たったの6歳の日本のこどもに、スペイン語の舌の使い方に違和感はないのか。語感の響きに戸惑いはないのか。厳しい旋律と音域をカンニングペーパーなしに、完璧な発音で見事に唄いきったのである。

私は心の底から感動がこみあげてきた。大使も、言葉に言い表せないほどに心を動かされている様子であった。校長先生は、式典の後こんなことを仰っていた。「遠足のバスの中で、ガイドさんに『校歌をうたいましょう』と求められても、進んでカミニートを唄うのですよ」と。

私がタンゴに出会ったのは、すでに人生のかなりの刻を過ぎ、人間の生きる苦しみや悲しみを理解し始めた年代であった。そうした時期であったからこそ、私がタンゴに引き寄せられたのかもしれない。しかし、あの子達は直感的に、意識レベルの何たるかを遥かに超えているのではないかと感じた。音楽に限らず、こんな教育が日本全国に広まったなら、学級崩壊などなくなるのではないかと思った。

子どもたちから式典で首にかけてもらった折鶴のレイは、生涯の思い出に残る、大切な品となることと思う。

(こうさか ゆう、
タンゴ歌手、当協会員)

懐かしのタンゴ 帰ってきたガルデル

「タンゴの神様」ガルデルが、航空機事故で劇的な死を遂げたのは1935年。あれから半世紀を遙かに過ぎた今も、ブエノスアイレスの彼の墓前には献花の絶えることはない。ブエノスアイレスの人たちはガルデルの名を口にする時、決まって遠い夢を見るようなうつとりとした表情になるのである。

そのガルデルを、カナダのテレビプロダクション「ロン

バス」が音楽ドキュメンタリー番組の中に甦らせた。番組は、65年前のフィルムとコードに残るガルデルの映像と美声に、彼を知る人たちの追憶を織り交ぜながらその生涯を追う。そしてアルゼンチンの新進オペラ歌手マルセロ・アルバレスが力強い歌唱力でガルデルの歌を再現していく。ガルデルがオペラ歌手カルーソーを深く尊敬し、その歌い方を巧みに取り入れて

いたエピソードなどが紹介される。

なぜカナダなのか。「ロンバス・プロダクション」はこれまで世界の優れた音楽家をテーマに、多くの音楽番組を手がけてきた。今回はアルゼンチンの天才タンゴ歌手の生涯と歌を正確に記録することを目標としたという。ガルデルの前に国境はない。

この番組と、アルバレス歌うガルデルのタンゴの2本の番組は、8月6日（日）午前0時45分からNHK衛星第2で放送される。

（河崎）

創立70周年、再開50周年に 新たな決意 通常総会にア大使も出席

「ジェット機もインターネットもない時代に、われわれの先達は両国を結ぶ固い縛（きずな）を作り上げてくれました。いまや、新しい道具を駆使して、この誇るべき相互信頼と兄弟愛をさらに進展させましょう」

アルゼンチン共和国キアラディア大使は協会の総会に出席して、日本アルゼンチン協会の創立70周年、再開50周年への祝辞をそのようにスピーチされた。

第44回通常総会は5月24日午後、日比谷ダイビル会議室

で、斎藤英四郎会長を議長として藤本芳男、友国八郎両副会長をはじめ協会員30数名が出席し、来賓に外務省中南米第一課福嶋教輝課長、アルゼンチ

ン大使館ルビオ・レイナ総領事も迎えて開催された。

議案は第一号から第五号まですべて承認され、新年度の予算も承認された。経済情勢が極めて厳しい状況にもかかわらず協会メンバー、とくに個人および賛助会員が増加していること、スペイン語クラスが順調に始まったことなどが報告された。

総会に続いて両国間の通商状況、アルゼンチン新政府の政策、とりわけアルゼンチンの鉄鋼会社が日本の大手製鉄会社の一部を買収する話題に注目が集まった。

アルゼンチン牛肉の日本への輸入解禁が近く実現するものとみられ、食文化のジャンルでも両国間が、新しい時代に入る期待が強調された。

（専務理事 野村秀治）



総会でスピーチするキアラディア大使（中央）

ブエノスの公園に友好の記念碑「鶴」

ブエノスアイレスの中心にあるプラサ（公園）に大きな鶴の記念碑が完成し、6月3日オリバラ・ブエノス市長、木島駐アルゼンチン大使らが出席して除幕式が行われた。

この記念碑は、日ア修交100周年を記念してアルゼンチンの日系団体連合会がブエノスアイレス市民に贈ったもの。日系2世・3世などが組織する「セントロ日系」がスポンサーとなり、沖縄に住む彫刻家呉屋フリオ氏に依頼。呉屋氏は、アルゼンチンに滞在して日系

の鉄工所で鉄材を使った碑を作りあげた。「鶴は、日本の文学、芸術作品に多く取り入れられている。折り紙のように鉄板のひだを組み合わせて立体的なひろがりを見せるようにし、ダイナミズムとスピード感を出すようにした」と作者は語る。

100周年実行委員会の阪田さんは、「この彫刻は、言葉や文化の障壁をこえて遠くからこの地へきた日本人移住者を兄弟のように受け入れてくれたアルゼンチン人たちへの感謝



のしるしです」と語っている。

碑の立つ公園は、ヌエベデフリオ大通りとパラグアイ通りが交差する角。コロン劇場とはコルドバ大通を挟んだ位置にある。

(らぶらた報知紙より)

今年も好評の 「ペヘレイ・ツアーア」へ

恒例の当協会主催
「ペヘレイ・ツアーア」が
10月21日(土)
埼玉県安田養魚場
で開催されます。

今年は例年の催し物にさらに新機軸を加えたものを検討中です。
ペヘレイ料理、アサード、アルゼンチンワインのメニューはいつもの通りです。

詳細は、次号の会報(10月発行)でお知らせします。

アルゼンチンの先生に習う 「実用スペイン語」秋季講習会

主催 社団法人 日本アルゼンチン協会
講師 リナ・フェレーラ先生(駐日アルゼンチン総領事夫人)

初級B (発音、基礎会話、タンゴの歌詞など、やや進んだ初級コース)

9月8日(金)より12月8日(金)まで12回

毎週金曜日 18:30~20:30(祝日を除く)

中級(実用会話、読書、詩朗読を楽しんでレベル・アップ)

9月12日(火)より11月28日(火)まで12回

毎週火曜日 18:30~20:30

受講料	(初級コース)	(中級コース)
一般(非会員)	35,000円	37,000円
協会会員	25,000円	27,000円
学生	20,000円	22,000円
*テキスト実費	2500円	

会場 当協会3階教室

(JR・地下鉄銀座線「新橋」駅徒歩2分。都営地下鉄「内幸町」駅より徒歩3分。日比谷線、千代田線「日比谷」駅より徒歩6分。)

定員 各クラスとも18名。定員になり次第締め切ります。

文化行事

【】は当協会員特別割引

■ ワールドフォルクロリ アーダ

民族音楽、舞踊、工芸、遊戯など世界65か国・地域の無形文化遺産継承者が4年に1度集まる「世界民族文化祭」 今年は日本で、東京渋谷を中心を開催 アルゼンチン関係以下通り。

(問合せ 財団法人日本民族芸能国際交流協会 Tel 03-3477-1055)

開会式

7月26日(水) 18:30 開演
NHKホール
S5000円、A3500円、
B2500円

地球の舞・晴舞台

7月28日(金) 13:30～
17:30 渋谷公会堂
出演：アルゼンチン、イギリス、
エジプト、日本など
S3000円、A2000円

ライブパーティー

7月27日(木) 19:00 開演
オンエアーウエスト
出演：アルゼンチン、アルバニ
ア、インド
2500円

【】上記3つのイベントは、グループでチケット申込の場合、当協会員10%割引あり。
申込先 ワールドフォルクロ
リアーダ事務局 03-3477-
1055 (堀 恵巳子さん)

世界の市場・フォークロア

マーケット

7月26日(水)～30日
(日) 12:00～日没まで
代々木公園・ケヤキ並木
世界各地の屋台や各国產品展示
マーケット
無料

空のステージ

7月26日(水)～29日(土)
13:00～17:30 代々木公園
広場・野外ステージ
• 世界各地の音楽・歌・舞踊
無料

青少年交流

7月27日(木)～30日(日)
国立オリンピック記念青少年総
合センター
参加：アルゼンチン、フランス、
スコットランド、台湾など
無料

■ タンゴ・ボルビエンド 2000年

演奏：

ロス・コソス・デ・アル・ラオ樂
団

踊り：

在ブエノスアイレス タンゴダ
ンサー古瀬陽子他

日時：

9月5日(火) 19:00
東京芸術劇場

前売り 6500円、5500円

当日 7000円、6000円

Tel 03-5468-0558

9月6日(水)、7日(木)

19:00 ライブスペース・

ウエンズ(西荻窪)

前売り 4500円、

当日 5000円

Tel 03-3399-4558

9月9日(土) 19:00、
10日(日) 15:30
中津川文化会館(岐阜)
5000円、3500円
Tel 0573-62-3001
9月12日(火) 19:00
木曾文化公演文化ホール前
売り 4500円、
当日 5000円
Tel 0264-22-2627
9月17日(日)
15:00, 19:00 (2回)
京都府立文化芸術会館
6000円
Tel 075-441-1567
9月20日(水) 19:00、
21日(木) 13:30
名古屋ナディアパーク。
アートピアホール
Tel 052-899-0226
9月22日(金) 19:00
松山市民会館 5000円
Tel 089-927-305 (森)
9月24日(日) 15:00
岡山三木記念ホール
前売り 4500円、
当日 5000円
Tel 086-231-1850

【】当協会員は、会報29号提示
で500円割引
問合せ先：
Tel 0573-65-2152
Fax 0573-65-7879
(古瀬和寛さん)

日本アルゼンチン協会会報29号 2000年7月20日発行

発行責任者	野村秀治
編集長	河崎 獻
発行所	社団法人 日本アルゼンチン協会 105-0024 東京都港区新橋1-17-1 新幸ビル
	電話：03-3501-4684 FAX：03-3595-3932
印刷所	株式会社 イデア・インスティテュート